## ジッダ日本人学校だより (Jeddah Japanese International School)



## 【教育目標】

心豊かに学び,たくましいジッダっ子の育成

~かしこく・やさしく・たくましく~

TEL: 664-3437 FAX: 664-2963 HP http://jjs-japan.com

E-mail jjssa@jjs-japan.com

ジッダ日本人学校 校長 溝上 正弘

令和 4 年(2022 年) 11 月 30 日 NO.8

## 学習参観・「ようこそ先輩」講演会へのご参加ありがとうございました 11/18(金)実施

今年度第3回目の学習参観日には、授業参観ならびに「ようこそ先輩」講演会を実施しました。ご多用の中、

多くの皆様にご参加いただきまして誠にありがとうございました。

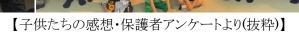
今回は、1 校時には各担当による授業公開、2校時には「英会話」の授業を公開しました。学年別の授業では、低学年の子供たちをはじめ、どの子も大きく成長し意欲的に学習に励んでいる様子をご覧いただけたのではないかと思います。高学年の英会話では、年度途中からご指導いただいているアレハンドラ先生の授業をご参観いただきました。文字カードを用いた英単語づくりとそれらを活用した Q-A 活動など、集中して意欲的に取組む姿が見られました。また、低学年では、[want to~]の表現に慣れ親しむための様々な活動を、ゲームや Q-A 活動を通して楽しみながら嬉々として学ぶ子供たちの姿が教室中に溢れていました。

続いてソーラン節の練習風景を公開した後、KAUST のキングアブドラ王立科 学技術大学に勤められている高橋将晃先生をお招きして、「ようこそ先輩」講演会を 行いました。幼少時代から現在に至るまでのお話を聞いて、「夢中になれることを見

つけること、人との出会いやつながりを大事にすること、そして、学ぶことも遊ぶことも何でも一生懸命その瞬間を大切にすること]など、子供たちはこれからの生き方や将来の夢について考える大変良い機会となりました。

長い武者修行の旅





〇おおくの人ときょうりょくしてけんきゅうをすすめたことがすごいです。 〇お話をきいて自分からちょうせんすることがとてもだいじだとわかりました。 〇ノーベル賞をとって、古いテーブルクロスにサインするようになるくらい夢中になれることをさがしていきたいです。 〇いろいろな分野のことを学んだり日本とアメリカの大学で13年も勉強したりしていることがすごいと思いました。

○私がとくにいんしょうにのこったことは、「苦ろうしたことはやくに立つときがくる」ということでした。高橋さんみたいに目標に向かってがんばりたいです。 ○私がお話を聞いて印象に残っていることは、最初は嫌な事でもとりあえずやってみると、今まで見えていなかった扉や道が開けること、そして、人との出会いと関わりが大きな影響を与えてくれるということです。これから出会う人たちとの関わりを大切にして、未来の自分の扉を開きたいです。

- ◆講演会では、保護者にとりましても学びの多い大変貴重なお話をお聞きできてありがたかったです。これからもこのような機会を楽しみにしております。また、熱心に授業を受ける子供たちの姿に感心致しました。
- ◆どの授業も工夫とアイディアが一杯で、興味をもって楽しそうに学んでいる姿が印象的でした。



## |"プライベートビーチ"での写生会・ムタバガニさんとの交流会実施 11月2日(水)|

好天に恵まれた 11 月 2 日に写生会を実施しました。今回は、「紅海」を題材として選び、毎年招待していただいている校舎オーナーのムタバガニさん所有のプライベートビーチで行うことにしました。予定通り 8 時半過ぎに

無事にビーチに到着。担当の先生から注意すべきことを聞き、その後自分が描きたい風景を決めてから下絵を描き始めました。砂浜から見える海に浮かぶコテージと紅海を画用紙一杯に描く子、コテージの芝生の広場に座って砂浜とヤシの木を描く子、果てしなく広がる紅海と青空を大胆に描く子など、思い思いにペンを走らせ下絵を完成させました。

その後は楽しみにしていたボートクルージング体験。1 時間ほどかけて 沿岸の景色や紅海の風情を満喫しました。 爽やかで心地よい紅海の風を 全身で感じながら、とてもステキな時間を過ごすことができました。 その他



お世話になった管理人さんと一緒に

にも、砂浜遊びやシュノーケリング、児童生徒会企画のスイカ割り競争などに興じる子供たち。歓声や笑いと拍手が浜辺一帯に響き渡り、どの子も満面の笑みを浮かべて本当に嬉しそうでした。お昼はコテージ横の芝生の広場でお弁当を美味しくほおばり、これまた幸せなひと時をみんなで過ごすことができました。行事と融合させた



国語科では、「すがたをかえる大豆」という単元を通して、説明文の全体構成を意識しながら読み取

りを進めました。また、大豆以外でいろいろな食品になる食材を選び、図書館の本やタブレットなどで調べ学習を進め、その内容をプレゼンテーションにまとめました。さらに、大豆がいろいろな食品にすがたを変えていることを実感するために、大豆から豆腐を作る実習も行いました。保護者の皆様にもご参加いただいたことで、豆腐作りを一緒に体験するだけでなく、作成したプレゼンテーションの発表を聴いていただく機会ともなりました。



算数科では、現行の学習指導要領で重点が置かれている「プログラミング学習」を行なっています。Scratch Jr というタブレットのアプリを使って、プログラミングの基礎を学ぶとともに、それらを応用してストーリー性のある場面を作ったり、自分以外の人にプレーしてもらうためのゲームを作ったりしています。プログラミング学習は、コンピュータに入力する「プログラミング」だけでなく、物事を順序立てて論理的に考えたり効率よく処理したりするための「プログラミング的思考」を育むこともねらいとしています。児童たちは毎回の授業でトライ&エラーを繰り返しながら、新しい発見に出会い、作品の制作に主体的に取り組んでいます。

